

GENERAL PAUSE

空が高くなり、秋の空の色になりましたね。

さて、遅くなり申し訳ありません。9月ですが8月号です。

2017年9月の練習予定

*9月のレギュラーの練習予定です。

月	練習日	時間	曲目
9月	7日	19:30~21:00	小組曲 全楽章
	14日	19:30~21:00	河毛先生の合奏
	21日	19:30~21:00	小組曲 2楽章ずつ練習
	28日	19:30~21:00	小組曲 2楽章ずつ練習
10月	5日	19:30~21:00	河毛先生の合奏

・河毛先生 練習日

9/14、10/5、10/19、11/2、11/9 の5日です。

練習回数に限りがあります。しっかりと準備をして練習にのぞんでください。

連載～5回目～

その5.アンブシュアとアパチュア

アンブシュアとは吹くときの口の形(状態)、アパチュアはそのときの口の開き加減(息の通り道)をいいます。

これらは上手な人が吹いているのを見てもマウスピースに隠れて見えないので、自分のやり方が正しいのかどうか分からずずっと不安でしたが、レッスンで先生から「ちゃんとした良い音が出ているということはアンブシュアに問題がないということです」と言われ安心しました。

一方アパチュアの方ですが、以前私は低音(ラから下)の音が苦手で中音域のような豊かな音が出ませんでした。これの克服のために先生はペダルトーンの練習方法を教えてくれ、毎日ウォーミングアップのルーティーンとして取り入れました。そのおかげで数ヶ月で低音の苦手意識が克服できましたが、そのとき気がついたのが以前のアパチュアは狭かったということです。どうしても私は、多くのトランペット吹きが抱くように、高音を楽に出したいという意識があって、高音域に照準を合わせたアパチュアが出来上がっていたようです。正しいアパチュアは思ったより広いということが分かりました。

ただし低音が良く出ても高音が出なくては正しいとはいえません。低音も高音もでる調度良い加減のアパチュアを見つけるために、ペダルトーンの練習と同時に上行下行スケールや跳躍の練習もかなりしました。これらの練習は低音域から初めて高音域に移行するのが有効です。以前は苦手意識があってウォーミングアップも低音域を省略したりしていましたが、低音域をしっかり出るようにしてから高音域を吹くと、

2017年の演奏会の予定

(決定分)

・音の祭典 in YAWATA

2017.11.12 (日)

「小組曲 全楽章」

作曲：ALFRED REED

かえって以前より高音域が楽にできるようになりました。これはシラブルを使えるようになったこととも関係していると思います。すなわち口の息の出口を狭くするのではなく、その手前の口の中の息の通り道を舌を持ち上げることによって狭くするという事です。口の出口を狭くすると、次に低音が来るときにすぐに口を広くすることができないのに対し、シラブルを使えば簡単にできるので音の跳躍も比較的簡単にできるようになります。

(寄稿：Trp 小田川さん)

小組曲について (再掲載)

8月は練習の出席状況が非常に悪かったです。9月14日から河毛先生の合奏がはじまります。少なくとも、9月14日の合奏が初見にならないよう、楽譜に目を通してから合奏に臨んでください。先月号に載せた小組曲の紹介をもう一度のせます。

小組曲は、4つの楽曲から構成されており、いずれも18世紀に流行った舞踏組曲や舞曲の名前がつけられています。

第1楽章・・・イントラダ

4/4拍子のファンファーレと行進曲の形式で、宮廷にゲストが入場してくる情景を描写している。宮中でFestivalが始まる序曲で、tuttiの多い行進曲。

第2楽章・・・シチリアーナ

シチリアーナは6/8拍子のイタリアの舞曲。木管やホルンが主体となって曲が進み、オーボエの美しいソロが聴かせどころ。

第3楽章・・・スケルツォ

18世紀に作曲されたシンフォニーは、第3楽章に3/4拍子のメヌエットという優雅な舞曲が用いられました。しかし、ベートーヴェンは少し軽快な3拍子のスケルツォを用いたそうです。この3楽章はそれに習ってスケルツォとなっていますが、3/4拍子ではなく、2/4拍子で書かれています。木管楽器を中心に3部構成で書かれており、trioではミュートトランペットが軽快な旋律を奏でます。

第4楽章・・・ジーク

ジークは17世紀から18世紀にかけて、組曲の終曲に用いられた舞曲の1つで、6/8拍子でイタリア、フランス、イギリスなどで流行した舞曲です。軽快で流れるような、かつ浮きたつような楽しさを持つ曲で、終楽章にふさわしい華やかさを持っています。

音の祭典について

音の祭典の日程と出演団体が決まりました。

開催日：2017.11.12 (日)

出演団体：八幡市民吹奏楽団、THE WIND PLAYERS、フィラメンツ、和っ鼓、八幡小学校1年生、
南山小学校金管バンド、少年少女合唱団、男山二中三中吹奏楽部合同、
男山中学男山東中学京都八幡高校合同 (9団体)

来月はどんな話題が登場するやら……。それでは、来月号をお楽しみに。